

未来のためにできること

～東京パックはSDGsの達成に貢献していきます～



SDGs (エスディージーズ) とは

「SDGs」とは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミット中で世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の目標です。

このサミットでは、2015年から2030年までの長期的な開発の指針として、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。この文書の中核を成す「持続可能な開発目標」をSDGsと呼んでいます。

東京パックのSDGs 基準 (下記の項目を基準とする)



「すべての人に健康と福祉を」

食の安全・健康を守る

衛生管理が求められる様々な現場において必需品となる衛生手袋を製造・販売しています。

「食の安全」を守るため高品質主義をポリシーとして安心・安全な商品を提供しています。

また、介護・看護等、おむつ交換や口腔ケア・吸引作業等、様々な現場において必要不可欠な衛生手袋も提供しています。



「持続可能な地球環境」

独自のリサイクル技術によって 化石資源を60%削減

手袋を製造する際の余ったフィルムを処分せず、自社の再生機によってスクラップをリペレットに再生します。そして再生したリペレットを再度製膜(フィルム化)し、手袋の原料として100回以上繰り返し再利用します。



「持続可能な都市」

災害に備える

地震や水害時のライフライン復旧までに欠かせない、衛生管理に関わる作業に重宝する「緊急災害対策用手袋」を備蓄手袋として製造しています。近年の自然災害では、国と連携し被災地に手袋を供給しています。

また、首都直下型地震への対策として工場を東京と長野に2箇所設置しています。リスク分散により災害が起きても手袋を供給・出荷できる体制を整えています。



「産業と技術革新の基盤を」

徹底したトレーサビリティを実施

製造履歴と出荷履歴を3年間保存し、万が一製品に不備が発生した場合は製造履歴・出荷履歴を検索し、その情報に基づきリコール体制を敷き、速やかに商品交換が行えるように品質管理体制を整えています。



一步先行く...

東京パック株式会社